

ライフサイエンス分析機器セミナー

日時：平成29年8月25日(金) 10:00~11:50

場所：琉球大学亜熱帯島嶼科学拠点研究棟 3階会議室

講師：上向 健司 氏 (アズワン株式会社)

プログラム

10:00~10:50

Next-Generation Mapping (NGM)がもたらす新しいゲノム解析の視点 ~BioNano Genomics社 NGMシステム Saphyr のご紹介~

NGM技術では、配列特異的なNickaseで蛍光ラベルした数百bp~1 Mbp長のゲノムDNAフラグメントを、ナノチャネルアレイ上にて1分子レベルで伸長整列させてから画像解析を行ないます。従来のロングリード解析でも困難な数百kbp~数Mbpレベルの繰返し配列の解析や、挿入・欠失・転座・逆位といった染色体上のイベントを正確にマッピングすることを実現しています。最近では、染色体構造の変化と疾患の関連性を個人単位で調べるプレジジョン・メディスンの観点に立っての解析も盛んに行われています。

11:00~11:50

PCRフリーの新しい遺伝子発現解析技術のご紹介

~デジタルオミックスアナライザー nCounter のご紹介~

独自の蛍光プローブと、ハイブリダイゼーションの技術とを融合して、逆転写・PCR増幅なしで核酸分子を直接デジタルカウントするnCounterシステムは遺伝子発現解析の他にも様々なアプリケーションに対応しており、試薬キットを変更することでmiRNA解析の他、SNV解析、CNV解析、シングルセルの発現解析も可能です。また、蛍光プローブに抗体を付加する技術によりタンパク質の解析も可能となり、1アッセイでDNA、RNA、Proteinを同時にカウントすることが可能な『3D Biology』の技術を開発しました。本セミナーではnCounter Systemの概要と遺伝子発現、SNV解析、miRNA解析など幅広いアプリケーションをご紹介いたします。

申込み

右のQRコード又は下記サイトからご予約ください。

http://irc1.lab.u-ryukyu.ac.jp/?page_id=92

Webによる事前申込は8/24(木) 15時まで。

以降は会場にて参加を受け付けますが、配布資料は事前申込者を優先します。



問い合わせ先

研究基盤センター事務室(理系複合棟307室)

TEL:895-8967 E-mail:irc@lab.u-ryukyu.ac.jp HP:<http://www.irc1.lab.u-ryukyu.ac.jp/>